

さい石だより

第114号
静岡県砕石業協同組合
静岡市葵区末広町110
TEL<054>271-2618
FAX<054>271-2621
E-mail saisekigyoyou@cy.tnc.ne.jp
<https://shizuoka-saiseiki.jp>

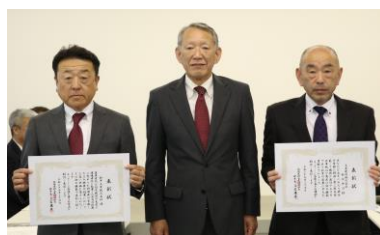
第二十四回通常総会

役員改選、令和六年度事業計画等を審議

静岡県砕石業協同組合の第二十四回通常総会が、令和六年五月二十四日、静岡県男女共同参画センターあざれあにおいて開催されました。

まず、議事に先立ち、理事長表彰があり、優良事業所として静岡甲工業(株)が、長期勤続従事者として鈴木伸司氏(土屋建設(株))がそれぞれ表彰されました。

理事長表彰受賞の皆様、
おめでとうございます！



野毛忠明 様 立岩理事長 鈴木伸司様
(静岡甲工業(株)) (土屋建設(株))

役員の選任

昨年度の第二十三回総会では諸般の事情から、一年間の役員任期留任をしており、今回の総会で役員改選を行いました。
令和六年度から二年間の役員は、以下のとおりです。

理事 十一名	
理事長	立岩 康男 (再任)
副理事長	山本 雅也 (再任)
副理事長	三高 一 (再任)
理事	木村 信太郎 (再任)
理事	井上 光由 (再任)
理事	川村 靖 (再任)
理事	楠木 昭久 (再任)
理事	外山 明寿 (再任)
理事	勝間田 慶喜 (新任)
理事	後藤 真典 (新任)
理事	桑原 裕明 (再任)



立岩理事長あいさつ (要旨)

御来賓の皆様には、日頃からの御指導、御鞭撻に感謝申し上げます。組合員の皆様は、組合事業運営に深い御理解と御協力を賜り、ありがとうございます。さて、本年一月一日には能登半島地震が発生しました。当地は「のと里山空港」や「のと里山街道」の完成後、採石場が閉鎖されたため、復旧・復興が困難を極めていくと見えています。南海トラフ地震が予期される本県も、この二十年間で採石場が半減し、残る採石場でも資源が乏しくなっています。万一の災害時に、私ども砕石業界の協力が不可欠にもかかわらず、十分な対応ができないおそれがあるわけです。こうした課題を含め、組合・組合員のおかれた現状について、今後も静岡県など関係先との意見交換を続けていきたいと考えております。なお、2022年の豪雨災害では、採石場跡地から国道や鉄道への土砂流出が発生しました。組合としても襟を正し、組合員が互いにチェックしあえる関係を築いてまいります。今年度も無災害であること、また皆様の御健勝を祈念し挨拶いたします。

監事 二名
監事 菊地 昭吾 (再任)
監事 渡辺 豊彦 (新任)
(顧問 一名)
顧問 近松 則雄 (再任)
なお、このたび理事を退任された勝間田久嗣様及び後藤裕史様には、豊富な御経験、御見識を有され、今後も大所高所から御助言をいただけるよう、新たに相談役に就任されました。また、名誉顧問には、三名が就任されています。

(相談役 二名)
相談役 勝間田 久嗣 (新任)
相談役 後藤 裕史 (新任)
(名誉顧問 三名)
牧野 たかお 参議員議員(静岡県)
相坂 摂治 県議会議員(静岡市駿河区)
木内 満 県議会議員(富士宮市)



祝辞要旨

静岡県交通基盤部理事

高梨 記成 様

皆様におかれましては、日ごろから本県の建設行政の推進に深い御理解と御協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、能登半島地震に対しましては、県交通基盤部といたしましては四名の土木技術職員を、石川県と六水町に中長期的に派遣して、現地の災害復旧を支援しているところであります。

また、国の取組として、地震発災後の二ヶ月間で約一万七千㎡の砕石を調達・輸送のほか、半島地域の防災強化として、災害に強い道路や港湾等のインフラ整備の方策を検討するとの報道がありました。

砕石業は、道路や河川・砂防、港湾等の公共工事で、その骨材提供で支えており、県土の発展と安全を確保するための基盤作りには、皆様方による良質な骨材資源の安定的供給が、引き続き欠かせないものであります。

県内では、昨年、一昨年と台風接近に伴う大雨の影響で、多くの土砂災害が発生しており、今後さらに気候変動による水災害の頻発化・激甚化が予測されています。

事故の防止はもとより、防災対策、安全対策等に引き続き御配慮いただき、地域との共生を図りながら、県土の建設と発展に、今後も一層の御尽力をお願いする次第であります。

結びに、静岡県砕石業協同組合の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

(代読 静岡県河川砂防管理課長

鍋田 航平 様

第二十四回通常総会御来賓

名誉顧問

参議員議員 牧野 たかお 鷺見秘書

静岡県交通基盤部関係

河川砂防管理課長 鍋田 航平 様

砂防課長 杉山 一仁 様

技術調査課長 森西 洋之 様

工事検査課長 土屋 守廣 様

道路保全課長 西原 宏昌 様

政令市関係

静岡市開発審査課長 鷺坂 徳寿 様

関係団体

静岡県道路舗装協会会長 中村 嘉宏 様

静岡県アスファルト人材協会常任幹事長 大高 圭介 様

静岡県建設業団体連合会重務理事 石野 好彦 様

静岡県中小企業団体中央会経営支援部長 住川 守雄 様

祝詞（メッセージ）

参議員議員 牧野 たかお 様
静岡県議会議長 落合 慎吾 様

令和五年度事業報告

債務保証や共同立入検査など例年同様の事業のほか、インターネットホームページの開設等の新たな取組が報告されました。

令和5年度は新たに、静岡県砕石業協同組合のインターネットホームページを開設しました。

<https://shizuoka-saiseki.jp>



砕石製造過程の紹介動画（約5分間）もYouTubeで公開。（www.youtube.com/@shizuokasaiseki）ぜひご覧ください。

総会では、このほか令和六年度事業計画や、経費の賦課及び徴収方法など、上程された計八つの議案がすべて原案どおり承認・可決され、閉会となりました。

静岡県砕石業協同組合 令和六年度六月までの主な動き

- ①砕石紹介リーフレット発行（五月一日）
砕石製造過程等をわかりやすく説明するリーフレット（A3版二つ折り）を発行
- ②三団体協議会の現場見学会（五月三十日）
道路舗装協会、アスファルト合材協会の若手職員対象に採石場現場見学会を開催
- ③県庁河川砂防管理課と意見交換（六月六日）
砂利及び岩石等採取計画認可事務取扱要綱の改正案について県当局と協議

①砕石紹介リーフレット



裏面には、県内採石場一覧も掲載。事業説明や工場見学等に御活用ください。リーフレットのお問い合わせは、組合の事務局へどうぞ。

☎（054）271の2618

②三団体協議会の現場見学会を開催（五月三十日）

三団体とは、道路舗装の原材料を提供する砕石業協同組合、アスファルト合材を製造するアスファルト合材協会、そして舗装を施工する道路舗装協会、良好な道路舗装に向け三団体技術者協議会を設け、連携協力を図っています。

今回は、静岡工業（株）南部工場を会場に、アスファルト合材協会及び道路舗装協会の傘下企業の若手職員を対象とする採石場現場見学会を開催しました。



参加者からは「場内やプラントをじっくり見ることができた。」や「採石場の安全確保や品質管理の取組を現地を確認できた。」などの感想がありました。

③県庁河川砂防管理課と意見交換（六月六日）

県庁の河川砂防管理課は、近年の土石流災害や盛土問題等を受け、行政として採石場の監督体制の強化を図るため、「静岡県砂利及び岩石採取計画認可事務取扱要綱」の改正を検討しています。

当組合では、改正が組員にとって過剰な負担にならないよう、改正案について県当局と意見を交換し、県は改正案を再検討することになりました。なお要綱は令和六年度中に改正され、令和七年度から施行の見通しです。

あとがき

○「さい石だより」は、今回で二一四号となります。昭和五十二（一九七七）年の創刊以来、昨年度の二一三号まで印刷発行しておりましたが、今からはペーパーレスで、組合のインターネットホームページ等で公開していきます。今後より一層よろしくお願いいたします。